

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

➢ 水稻を中心に、転作作物としてアスパラガス、ねぎ、小菊などの生産を行っている平地農業地域。

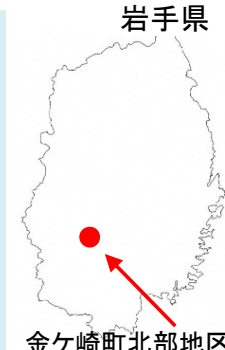
➢ 農業者の高齢化が進んでおり、大区画ほ場を活かした担い手への集積、コスト低減の取組を進めることが課題。

【支援内容・背景】

➢ 担い手の経営面積の拡大と離農等による農地の引受けに対応すべく、地区内外の農地の集積・集約化、大型機械の導入などによる生産性の向上、作業の効率化に向けた取組を支援する必要。

➢ 助成対象者は、当地区で大規模経営を行っている農業法人であり、4人の主たる従事者が中心となり経営。農地中間管理事業を活用して、地域内外の農地の集積・集約に取り組んでいる。

岩手県



金ケ崎町北部地区

助成対象者「(農)弥栄」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

➢ 平成29年 (農)弥栄の設立
(構成員4名、加入面積20.4ha)

➢ 平成30年 経営改善計画の認定

➢ 令和元年 農薬散布用ドローン導入

➢ 令和2年 直進アシスト搭載8条田植機導入

➢ 令和3年 輸出米の生産を開始

➢ 令和4年 本事業を活用してコンバイン導入

➢ 令和5年 経営改善計画の再認定

《事業活用の背景》

○ 経営面積を拡大しながら生産性の向上を図るためには、作業の効率化やコストの削減が必要。

○ 水稻の収穫作業の効率化に資する高性能農業機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

○売上高 33百万円

○経営面積(水稻) 46.6ha

○輸出の取組 10.8t

《事業による整備内容》

情報支援機能付き
6条コンバイン1台
事業費 14,300千円
(国費 6,500千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

○売上高 74百万円
(224%)

○経営面積(水稻) 49.9ha
(107%)

○輸出の取組 11.9t
(110%)

事業の効果

《対象者》 自動で収穫量を測定できる大型コンバインの導入により、水稻の収穫作業の効率化・生産性向上が図られ、所得が伸びている。

《地区》 収穫の作業の効率化により、地区内外の農地の集積が可能となり、地域の担い手として期待。